



阪神・淡路大震災から30年

今日17日は、阪神・淡路大震災の発生から、30年を迎える日です。30年前のこの日の朝6時前、自宅の電話が鳴り響きました。電話に出ると当時大阪に住んでいた弟からの電話でした。「大阪が大変なことになってる。」という電話口で狼狽している様子でした。私は、倒壊した住宅、燃え広がる火災の様子など、テレビの画面に釘付けになっていました。この地震は、初めて「震度7」を記録し、関連死を含めた死者は6434人、住宅被害は約64万棟に上りました。日本列島はその後、東日本大震災(2011年)や熊本地震(2016年)、能登半島地震(2024年)などに襲われていますが、30年前の阪神・淡路大震災から「防災」が日本社会の最重要課題として位置付けられたのです。



政府の地震調査委員会は南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率について、1月1日時点で改めて計算し、これまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げ、公表しました。このような緊張感のある中での阪神淡路大震災から30年を向かえる日となります。私たちもこれらの教訓を生かし、日々の災害に備えると共に、国にも「災害に強い社会」の実現に向けた本気の取り組みを切に願います。

●ひこうきぐも✈ vol.33

中国旅行で一番よかった事は、食の充実でした。毎回旅行で困ることは食費をどうやって浮かせるか、ということでした。その点中国では、人の集まる場所には必ず出店が並んでいて、いずれも安いので助かりました。当時は1元=約20円でしたが、屋台のラーメンは大体1元以内で食べることができました。また「空を飛ぶものは飛行機以外、4つ足のものはテーブル以外何でも食べる」と言われるほど、中国人は食に対するこだわりがあるのです。例えば私が遼寧省で知り合ったおばあちゃんは、朝鮮族の方で、その郷土料理?には特色がありました。おばあちゃんは、せっかくの日本からのお客さんに珍しいものをたくさん食べさせようと、はりきって手料理を振る舞ってくれました。どれもおいしく、満足満腹でしたが、おばあちゃんは私を試そうと、ある物を食べさせたのです。それは外はカリッとしていて、中はトロツとジューシーなのです。おばあちゃんは「それ何だと思う。」と聞いてきましたが、分かりませんでした。その答えは何と蚕(カイコ)の蛹(サナギ)だったのです。しかし私が最後まで平気でばくばくと食べていたので、何だか拍子抜けだったようです。青島(チンタオ)ビールとも相性がよく、つつい食が進んでしまいました。次の日、おばあちゃんが「今日は、外食だからついておいで。」というので、ある食堂までやってきました。店内に入ると、おばあちゃんが注文を手際よくとり、たくさんの料理を載せた皿が、テーブルの上に所狭しと並べられました。旅行中は体力を付けるために、とにかく肉料理は財布と相談しながら意識的に食べなければなりません。このときはおばあちゃんのおごりですので、食べるだけ食べよう!と張り切って食べました。おばあちゃんは、私が食べる姿を見て、にこにこ微笑んでいました。腹11分位食べて、お腹をさすりながら食堂を出ると、おばあちゃんは犬を指さして、「あの肉おいしかった?」と聞いてくるのです。その食堂の前には、犬がたくさんつながれていて、初めは、「犬好きのお店だなー。」位にしか思っていなかった。このとき初めて理解できました。「犬の肉を食べちゃった。」と…。しかし店先でさばいたばかりの新鮮な肉はおいしかったのです。ちなみに、私は旅行後に、自宅で犬(鉄兵:黒ラブ♂独身)を飼いました。ときどき散歩中、こいつの肉はまずいだろうなー、と思ってしまふ自分が怖くなりました。



店先に繋がれた犬。看板に「狗肉(犬肉)」と書いてある

どれもおいしく、満足満腹でしたが、おばあちゃんは私を試そうと、ある物を食べさせたのです。それは外はカリッとしていて、中はトロツとジューシーなのです。おばあちゃんは「それ何だと思う。」と聞いてきましたが、分かりませんでした。その答えは何と蚕(カイコ)の蛹(サナギ)だったのです。しかし私が最後まで平気でばくばくと食べていたので、何だか拍子抜けだったようです。青島(チンタオ)ビールとも相性がよく、つつい食が進んでしまいました。次の日、おばあちゃんが「今日は、外食だからついておいで。」というので、ある食堂までやってきました。店内に入ると、おばあちゃんが注文を手際よくとり、たくさんの料理を載せた皿が、テーブルの上に所狭しと並べられました。旅行中は体力を付けるために、とにかく肉料理は財布と相談しながら意識的に食べなければなりません。このときはおばあちゃんのおごりですので、食べるだけ食べよう!と張り切って食べました。おばあちゃんは、私が食べる姿を見て、にこにこ微笑んでいました。腹11分位食べて、お腹をさすりながら食堂を出ると、おばあちゃんは犬を指さして、「あの肉おいしかった?」と聞いてくるのです。その食堂の前には、犬がたくさんつながれていて、初めは、「犬好きのお店だなー。」位にしか思っていなかった。このとき初めて理解できました。「犬の肉を食べちゃった。」と…。しかし店先でさばいたばかりの新鮮な肉はおいしかったのです。ちなみに、私は旅行後に、自宅で犬(鉄兵:黒ラブ♂独身)を飼いました。ときどき散歩中、こいつの肉はまずいだろうなー、と思ってしまふ自分が怖くなりました。

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木がバックパッカーとして旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。バックナンバーは一昨年度からの累積です。